

「なりたい何か」を持っている人は幸せ。 それに向かって、努力してほしい。

あの人に会いたい
Interview with Shunichi Nagasaki

長崎俊一

映画監督

PROFILE

神奈川県横浜市生まれ。高校生の時から、8ミリ映画の製作に取り組み、日本大学芸術学部映画学科に進み、内藤剛志らと制作活動を開始。1978年、びあフィルムフェスティバルの前身、第2回びあ展「自主制作映画展」で入賞。「ロックよ、静かに流れよ」「死国」「8月のクリスマス」「黒帯 KURO-OBI」「西の魔女が死んだ」など、多くの映画やテレビドラマを手掛け、2011年には、広島県福山市でロケを行った『少女たちの羅針盤』が公開。

映画監督になろうと思った きっかけは？

高校卒業後、日本大学の映画学科に入学しました。その時から映画監督になりたいという意識はありましたが、当時から日本映画は斜陽で、映画産業も縮小の一途でした。どの映画会社も採用を減らしていて、映画を仕事にしたいと思っても、どうしてよいのか分かりませんでした。そういう状況の中で、自分たちでお金を集めて8ミリ映画を自主製作し、上映会を開くという活動をコツコツとやっていました。現在もその延長で、映画監督をやっています。

映画監督というのは、今でも非常に不安定な仕事です。常に仕事があるわけではなく、1本1本の映画製作が終われば、いわば無職のような状態になってしまいま

すから。若い頃からずっと、仕事として映画に関わっていますが、映画監督になった時期というのは、はっきりしませんね。

大学生活の思い出は？

大学に入りたての頃は、ただ映画が撮りたくて、興味がありそうな仲間を見つけてはスカウトして、スタッフを集めていました。その時に出会った仲間に、現在俳優とし



て活躍している内藤剛志氏もいます。他にも、当時の仲間たちは現在、監督、プロデューサー、CM制作などのさまざまな分野で活躍しています。大学時代に製作した自主映画が、びあのコンペティションで入選したのも、印象深い思い出ですね。

映画監督とは

どんな職業ですか？

監督の仕事は、人によって違いがあると思います。映画の現場では、撮影・美術・セット・CG・俳優など、それぞれの役割がありますが、監督は、ただ一人手に職がありません。現場のスタッフが発揮できるような環境を作ることや、スタッフや俳優に指示を与えて、映画のカラーを決めるのが、監督の役割だと思います。

映画を作る上で

最も重視していることは？

映画とは生き物のようなものです。うまくいくこともあれば、いかないこともあります。ある程度、出来上りのイメージを持って計算して、そのイメージを実際に映像に再現するように努力しますが、イメージ通りになってしまったら、かえってつまらないものになります。一方で、どうしてこんな瞬間が生まれたのだろうと自分でも驚くような、すごく良いシーンが撮れることもあります。それは、現場の雰囲気が出ているもので、雰囲気が急に濃くなったり、悲しいシーンでも妙に爽やかになったりするのは、その思ってもみないとこ

ろにどうやっていけるかということが一番重視していますし、その瞬間をすくい取りたいですね。

俳優さんがうまく演じているということが伝わればよいのではなく、その映画の世界で本当に生きているように撮りたいです。お客さんが映画の世界に入り込んで、日常とは違った遠い所へ行けるような作品作りを心掛けています。

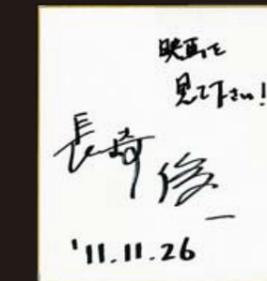
広島とご縁がありますね。

2011年に公開された映画『少女たちの羅針盤』は、福山市でロケを行いました。2009年から広島市で開催されているダマー映画祭 in ヒロシマには、毎年参加しています。昨年は、東広島映画祭にもゲストとして参加しました。映画を見る若者が減っている今、映画をただ見るだけでなく、ショートムービーのコンペティションを企画するなど、映画に深く触れようという東広島映画祭の取り組みは、良い活動だと思います。

広大生へメッセージをお願いします。

将来、特にやりたいことがないという人もいるかもしれませんが、卒業したら社会に出ないといけません。皆さんはまだ若いから、本当にやりたいことは、無理やり大学時代に見付ける必要はなく、社会に出てから決めてもいいと思います。1回決めた進路でも、違うなと思えば、変えてもいいと思えますね。

自分は高校時代に映画を仕事にしたいと思い、現在も映画に関



わる仕事をしていますが、既に職業として何かになりたい、というものを持っている人はすごく幸せだと思いますし、それに向かって努力して欲しいです。



取材を終えて

今回のインタビューが初めての取材だったので大変緊張しました。進行など、うまくいかないことも多かったのですが、監督は質問に対して、丁寧に真摯に答えてくださいました。私自身、映画鑑賞が好きなので、「想定していることではないことが際立つ瞬間を撮りたい」という言葉が特に印象的で、感銘を受けました。

取材・記事 / 法学部1年 石川裕佳





TV・雑誌
で活躍中!!

植松晃士

さんに聞きました!

広大生 Fashion check

第3弾
得点付き!!

大好評のファッションチェック第3弾。
TVや雑誌で活躍中のファッションプロデューサー植松晃士さんが
オシャレ自慢の広大生をチェックします。広大生よ!オシャレになれ!



木本晶子さん
生物生産学部3年

95点

HUスタッフコメント
毎朝早起きして、お化粧と髪をバッチリ決めてから登校する木本さん。靴とバッグをチェーンでそろえています。色は2色になるようにして、色物はあまり身に着けないそうです。今年しか着られないような服は買わず、肌に直接触れる化粧品にはいいものを買うとのこと。



Uematsu's Advice

全体的にきれい! あとは足にエナメルを!

足の組み方がお上手ですね(笑)。シルエットもバランスもきれいで、コーディネートのパターンもベーシックな感じでOK! 髪をまとめた時に、揺れるイヤリングも気が利いていいですね。全体的によくできています。唯一残念なのが、足先を見せてるのに、足の爪にエナメルをしてないこと! パンツの時にヌーディな足っていうのは正解なんですけど、ペディキュアを塗らないで素足を見せるのはスカートの中が見えているようなものよ! 爪には赤とか赤の濃い色が似合います。



90点

石賀雅之さん
工学部2年



HUスタッフコメント
好きなブランドであるバーバリーのブラックレーベルで、上品な感じを目指したという石賀さん。ポイントは特徴的な柄のベルトが見えるようにしていることです。色合いを工夫することを普段から気を付けているのだとか。



Uematsu's Advice

お坊ちゃん風とお兄さん風で个性的!

USドラマの「ゴシップガール」に出てきそうな、ちょっとお坊ちゃん風のファッションね。Pジャケット、もともと坊ちゃんみたいなイメージを持っているけど、そこにお兄さん系のワイルドなヘアスタイルで個性を出していると思います。ただ、洋服に対して足元が軽すぎね。ゴツイ重めのハイカーブーツとか編み上げブーツとかしたら、もっとハードで完成度が高くなってたんじゃないでしょうか。



魚住嶺允さん
経済学部2年

90点



HUスタッフコメント
日頃のこだわりは「一回したコーディネートは二度としない」ということ! 今回は一般受けが良いものを狙ったとのこと。パーカーはN.ハリウッドのものでこだわりあり! また、New Balanceのスニーカーは、いろんな服に合わせてやすくお気に入りだそうです。



Uematsu's Advice

**腕はあるから
今すぐヘアサロンに!**

一回したコーディネートは二度としないってすごいわね。そう言うだけあって、重ね着でコーディネートするっていう腕は持ってるわ。Gジャンやパーカーの丈のバランスの取り方もOK! ただ、がんばりすぎるところも見受けられます。それが帽子。帽子と髪型が合わない! 髪の毛がボリュームすぎるので、今すぐヘアサロンに行ってください! 惜しいんだけど髪型は40点よ! ただ、髪を切ればそれだけで良くなると思うわ!



有川隆貴さん
生物生産学部4年

65点

HUスタッフコメント
明るめのパーカーの上にジャケット風のカーディガンを着て、きれい目を意識。重ね着することで、暖かく、明暗の色の組み合わせも楽しめるそうです。アクセサリは普段から身に着けず、履いている靴は色がお気に入り、愛用しているとのこと。



Uematsu's Advice

もう少し着こなしを考えて!

色のトーンはまとまっていますが、グリーン系の靴とデニムの相性もとても良い。アメカジって意味では、靴に対してのデニムを一回折っただけのくしゅくしゅ感が男の子っぽくていいですね。胸元だけ赤いチェックが見えるのも爽やかでいいです。ただ、このカーディガンは要らなかった。これで色をまとめたんだろうけど、厚いものの上に薄いものを着るって変よね。Pジャケットやスタジャンみたいなものを着たらもっと完成したと思います。ベルトをちらっと見せるとか、着こなしも考えましょう。



85点

三好理子さん
生物生産学部1年



HUスタッフコメント
三好さんは、服を買う時に着回しのコーディネートを決めているのだとか。「毎朝、何を着るか迷うのが嫌じゃないですか」と語ります。好みはボーイッシュなファッションですが、今は髪型に合わないので諦めているのだとか。腕には、友人からもらったというバングルを着けています。



Uematsu's Advice

**彼ママには
受けが良さそう!**

全身茶系でエレガントにまとまっていますね。丸襟にリボンの取り合わせが学生っぽくて、セレブしてない感じがいいわね! 彼ママに受けが良さそう。ただ、靴がフェミニンに欠けるので、靴をパンプスにした方がいいわね! どこまでも枯葉の中を歩いていけそうな靴よりは、「えー、そんなとこ歩くとヒール埋まっちゃうよ」っていうような繊細なものにしてちょうだい!



65点

石井俊大さん
教育学部2年



HUスタッフコメント
細身の服を着て少しでも背が高く見せることを目指しているという石井さん。ジャケットを脱ぎ着して、うまく温度を調節しています。取材した11月は、まだ寒暖の差が大きく、温度調節とオシャレが両立できるジャケットがお気に入りだそうです。



Uematsu's Advice

顔はいいけど...

全バラ柄のバッグと赤のインナーがポイントになって、目に飛び込んできますね。がんばってるのは分かるんだけど、1つのドラマに主役が2人いる感じ! どっちか1つにした方がいいですね。このバッグを持つなら黒のインナーに、このインナーを生かしたいならもう少しクセのないバッグにするのがオススメかな。お顔は大変爽やかでいいわ。えがおは100点!



高尾舞さん
教育学部3年

80点

HUスタッフコメント
黒のアウトターで、すっきりとまとめています。普段は白を基調としたコーディネートが多いのだとか。ファーの付いた耳当てがアクセントになって、見た目にも暖かいです。普段から気を付けていることは色合いで、バッグと靴の色は同じにしたいそうです。



Uematsu's Advice

**清潔感があっていいけど、
もう少しアクセントを!**

インナーのボーダーが効いていて、フレンチカジュアルっぽい、冬のマリンのイメージが清潔感を出している。ただ全体的に寂しい感じがするわ。バッグを色物にするとか、足元にポイントをおくとか、何かアクセントを付けること! 足元は、ファーをあしらったアグブーツなんて取り入れてみてはどうかしら?



60点

大貫由宇さん
教育学部3年



HUスタッフコメント
ふんわりとした雰囲気を持つ彼女。長め丈のプリーツスカートでバランスよく着こなしています。スカートのワインカラーはレトロなコーディネートにぴったり。服は似合っているといいと言いつつ、広大生はおしゃれな人が少ないといった辛口コメントも。



Uematsu's Advice

全体的な色合わせはO

全体的な色合わせはいいんだけど、足も腕も全部隠して、肌見せが少ないから、肌を見せるともっと若々しさを出すべきね。



江藤飛鳥さん 80点

HUスタッフコメント
カジュアルな服をうまくまとめている江藤さん。今回の靴や時計もお父さんからのお下がりのこと。広大の男子学生の多くが着ているチェックシャツですが、同じチェックでもネックウォーマーやベストなどのちょっとした小物づかいでオシャレに見せています。



小技・ひねり技は◎

ダウンとチェックのシャツとネックウォーマーのバランスや、時計のカジュアルさに対してウールのパンツを持ってきたのがひねり技のかしらね。チェックにノルディック系の柄の小技は◎。でも、このパンツじゃなくてもいいよね。スキニー系の細身カーゴとかにした方が良かったんじゃない？



70点 早川依里さん

教育学部2年

HUスタッフコメント
全体的に黒で統一して、バッグの赤で目立たせた早川さん。普段から派手な色はボーチなどの小物で見せています。また、歩きやすさを大切に、ヒールはあまり履かないのだとか。日頃から「今日は〇〇みたいな服!」と意識を持つようにしているそうです。



エレガントに見せるなら2色までに!

全体としては、黒ベース+色のアクセントは分かりやすさがあり、ポイントとしては○。ただ3色使いは、どうしてもカジュアルになってしまいがち。もしエレガントに見せたいのなら2色まで! 高いヒールが苦手なようだけど、週2でヒールは履くこと! ヒールを履くことで全身のバランスが良く見えるでしょ。ヒールを履いて、社会に出るレッスンをしてほしいもの!



80点 岡本陽子さん

総合科学部3年

HUスタッフコメント
見どころは上に着ているストール。結ばばマフラーになりかわいて温かい! 「大切な自分の体だからお金をかけたいです」と豪語するとおり、エステや化粧品にもお金や手間は惜しまないそうです。よく見るとネイルはヒョウ柄。内なる美を引き出すというストーンブレスレットで内面の美も!



足元が残念。バランスを取れば、さらにすてきに!

ホワイトのトップスは、ボリューム感があり、クラシックな感じも出ていて、なかなかイケてるわ! ただ、トップスにボリュームがある分、ブーツの長さが中途半端になってしまったのが残念。こういう場合は、ブーツや編み上げのショートブーツか、黒のタイツにパンプス、または丈のあるニーハイブーツを取り入れると、バランスが取れてさらにすてきになると思うわ!



中村啓司さん 75点

生物生産学部4年

HUスタッフコメント
この日、取材があることをすっかり忘れていたという中村さん。「今日のテーマはオジボーイです」と話し、日頃から意識していることを感じさせます。上半身はオジサンのような服ですが、ネックレスやピアスでバンクな感じを表現!



テーマはいいですね!

まさにテーマに合わせたオジボーイって感じね。昭和の映画の助監督みたい。ラクダ色のカーディガンが生きてますね。帽子もテーマに合っていていいと思いますけど、今どき風な部分も欲しいですね。ピアスのネックレスとかが本人的には今風なのかしら。デニムのロールアップをもう1回して、スニーカーにしたらもっと良くなると思います。



70点 藤原明典さん

経済学部2年

HUスタッフコメント
男らしさを追い求めている藤原さんは、デニム・オン・デニムで泥くさい男らしさを表現。街に出る時に愛用しているサングラスも掛けてもらいました。アメカジファッションを貫くのがポリシーで、お気に入りのお店では、店長さんとおしゃべりしながら服を買って帰ります。



一つ一つはオシャレだけど昭和っぽい?

一つ一つ見ていくと、とってもオシャレだし、袖の折り方なんかはすごく絶妙! ただ、全体として見てみると、デニムとデニムのくどさがちょっと昭和っぽいかも。色を合わせすぎるところもあるから、はずしを入れていくと○。パンツをチノ系にするといかもね。最後に、ポーズングをもっと研究すること!



60点

白井希さん 教育学部2年

HUスタッフコメント
テーマはレトロガール。80～90年代風なファッションを目指したそうです。ワンピースはウール入りで、ヒートテックも着ているので見た目の割に温かく、西条の気候にもマッチ! 普段から東京でも浮かないような格好をするように心掛けています」と語ります。



厚着に見せないのがポイントね!

ヒートテックは、暖かさを保ちつつも厚着に見せないから、冬のマストアイテムね! ただ、タイツとインナーの色を合わせすぎ、モードに合わせるときは黒を使うと簡単よ。だから黒タイツに黒のタートルネックを合わせたらさらに良くなるわ。また、インナーを7分か8分丈ぐらいにするとよりレトロに。ファッションには肌見せも必要だからね!

HUスタッフの感想

- 「オシャレのかけらもない僕がファッション特集なんて……」と初めは思っていました。しかし、オシャレな広大生や植松さんの取材を通じてもっと挑戦してみたいと思いました! 野田順平(教育学部1年)
- 植松さんの取材はとても充実したものでした。一番印象に残った言葉は、「ファッションはコミュニケーションツールである」。社会に受け入れられるためには、まずは身だしなみからということを実感しました。阿部 翠(教育学部2年)
- 撮影担当の武林です。撮影中はモデルさんのおしゃべりを楽しみつつ、聞き出したポイントを画に生かすよう心掛けました。皆さん写真には現れない努力もされていますので、記事もぜひお読みください。武林賢朋(法学部3年)
- 「広大でオシャレにしても意味がない」と思っていたのですが、考えが甘かったです(笑)。植松さんのアドバイスを参考に、大学生にもできるオシャレを楽しんでいきたいです。鍋島唯衣(教育学部3年)
- 取材した学生モデルの皆さんはファッションを楽しんでいる印象でした。私は普段あまりファッションに気を使うことがなかったのですが、これを機に少し考えて見ようと思いました。神岡 遼(経済学部2年)

植松さんのファッションアドバイス!

PROFILE
植松晃士 ウエマツコウジ
アタッシュ・ドゥ・プレスファッションプロデューサー
株式会社ヘルメット/株式会社アンソニーレッド代表取締役
数々のファッションブランドのPRを手掛ける他、ファッションプロデューサーとしても活躍中。TVや雑誌などの多くのメディアで、女性のファッションに対する独自の視点とその辛口トークが好評。
●オフィシャルサイト <http://www.anthonyred.com/>

人は見た目が120%! だからオシャレは大事!

人は見た目が大事! 120%見た目で決まってしまうと思っています。第一印象で120%ポジティブに思われるのと120%ネガティブに思われるのだと、大きな差だと思います。それから、洋服っていうのはコミュニケーションツールでもあるのね。「類は友を呼ぶ」って言葉があるように、自分に近い人とはコミュニケーションを取りたいわけじゃないですか。コミュニケーションという点でも、ファッションに敏感であるということは大切なことなんです。



お金がない大学生でもオシャレはできる!

普段からストールやマフラーなんかの小物でもいいから、トレンドを取り入れましょう。最近では手頃な値段でオシャレなものも出てきてます。しまむらでも、合わせ方次第ではアリのなものもたくさんありましたよ。

薄着で若さを!

オシャレは我慢って言う人もいるけど、風邪をひくようなオシャレがオシャレだとは思わないですね。でも、どうせ暖かくするのなら、ヒートテックやパジャマのような薄いものを着るといいです。薄着の方が洗練されて見えるし、何より若さを感じる! 寒さ対策だったら、マフラーなどの巻き物や手袋、カラータイツ、ムートン系のブーツもいいですね。



ブティックを見て回って!

オシャレへの第一歩はブティックを見て回ること。そして「似合わない」と最初から諦めてしまわないこと! 似合わないと思っても、美容院に行って髪型を変えたら急に似合うようになることがあります。そうして新しい自分が見えてくると、必ずオシャレになれると思います。

オシャレをするときの注意点!

オシャレをする上で大切なのは、サイズを間違わないこと! つまり、丈をきちんと合わせること。そして、清潔感を守ること。清潔感がないと、社会には受け入れられませんから。それから、好きなものと似合うものは違う。それを見極めてほしい。周りからの評価がいいものを、自分の中で経験としてデータ化していったらいいんじゃないかしら。そうしたら、いざという時に役立つんじゃないですか。もちろん、好きで似合わないものも10年たったら似合うこともあるから、一生着るなってことじゃないのよ。私も評判が悪かった服がいつの間にか評判が良くなったことがあるのよ。まあ、歳を取ったってことなんだけどね(笑)。学生のうちから失敗することは大切! だから失敗してる皆さん、いいのよ!(笑)

最近のブームは……

女の子は今、ミニスカートかワンピースが主流ね。パンツがだんだんと姿を消してきているの。それからダウンが下火傾向よ。男の子はアメカジの流れがあるからいいんだけど。今、ダウンを着ちゃったらオバサンよ(笑)。男の子は、最近フェミ化が進んでいます。女性風のものを着る人が増えているの。シャツが似合うのは、ポイント高いわね。男の子の場合、シャツが似合うように、K-popスターを見習ってジムで体づくりをしない!

学生のうちからお肌のお手入れを。

若いうちからメイクに気を使った方がいいです。ただ、それ以上にUVケアや保湿といったお肌のお手入れ、美容を大切にしましょう。これは男の子も同じ! 10年後にはシミになったりしなくなったりします。

すぐにできるとっておきは……

大学生でも、すぐにオシャレに見せる方法があります。エレガントに見せたいなら、お洋服の色は2～2.5色に、カジュアルに見せるときも3色にとどめましょう。こうするだけで、男女関係なくオシャレに見えます。

流行には意味がある!

流行って、ブランドさんやメーカーさんが「これが流行だよ」って言うだけじゃなくて、着る人がそれに手を出さないと流行にならないじゃない? その流行って、時代の流れに合ってるからこそ流行するわけ。だから、流行に付いていけないとおかしいじゃない? これから学生さんは社会に出ていくと思うんだけど、世の中の動きを見るって意味でも、上手に流行ものとお付き合いしてほしいわね。



学生取材班が行く

はやりのネタや時事問題、ちょっと気になる先生など、あなたの「知りたい」を学生取材班が調べてレポートします。



恩賜賞・日本学士院賞を受賞

佐竹明名誉教授にインタビュー

佐竹明先生の専門は聖書学です。新約聖書に収められた『ヨハネの黙示録』は、古くからある宗教学の一つで、初期キリスト教文学の中でも特殊な存在です。『ヨハネの黙示録』の成立や特色に関する研究が評価され、昨年6月に恩賜賞・日本学士院賞を受賞しました。



お話を伺った佐竹先生

佐竹先生は東京大学に入学した時には理系志望でしたが、尊敬できる恩師との出会いをきっかけに聖書学に興味を持ち、教養学科へ進みました。聖書学研究の進んだドイツ、スイスに留学し、同地の恩師に勧められて『ヨハネの黙示録』の研究を始めたそうです。

研究は、原典を文法や語意だけでなく、当時の社会・思想なども考慮しながら、1語1句解説していくことが中心です。大変なのは、ギリシャ語、ヘブライ語、ラテン語など多様な言語をこなさないといけないことだそうです。『ヨハネの黙示録』は、22の章で構成され、章は1〜2行の節という単位に分かれています。解説は地道な作業で、1日に1節進めば良い方で、忍耐力が必要です。「聖書学の研究は直接社会に生かされることは多くありませんが、黙示録の作者が終末を見つめて生きる姿勢は、現代人にも語りかける内容を持っています」と、先生は研究の魅力を語ります。

受賞に関しては、大きな賞を受賞し戸惑うと同時に、さまざまな人の支援に感謝したそうです。さらに研究の意欲をかき立てられた先生は、80歳を過ぎた今、初期キリスト教で大きな役割を果たしたパウロの手紙の解釈研究に取り組んでいます。



「私が大学生だった戦後は、机で勉強するしかありませんでした。大学生に戻れるなら、もっと海外に出て、多様な人と話して、幅広く勉強したいですね。外からの刺激がないと、発想は生まれません。広大生の皆さんには、内向きにならず、一生懸命になれることを見つけ、本気の対話をしてほしいと思います」

日々の積み重ねが、出会いのチャンスになり、人生の豊かさにつながっていくのです。

取材・記事/法学部4年 香田 千尋

広島大学の日本鶏研究がすごい!

寒い冬は、暖まる水炊きなんかいいですね。水炊きといえば鶏肉ですが、広島大学は日本鶏(ニホンケイ)研究の最前線です。日本鶏とは、日本固有のニワトリの品種。日本鶏の品種数は世界のニワトリの約20%を占め、日本のような狭い国土に多くの品種が存在することは、特筆すべき点です。そんな日本鶏を研究している、日本鶏資源開発プロジェクト研究センターの都築政起教授にお話を伺いました。



お話を伺った都築先生

「昨年5月に、日本鶏保護増殖舎が完成しました。2階建ての1階では、国の天然記念物指定17



土佐のオナガトリ

品種を含む大人のニワトリを、2階ではひよこを飼育しています。日本鶏は姿形が珍しく、遺伝子も特徴的であるため、高い研究価値があります」

国の天然記念物に指定された品種が多いにもかかわらず、具体的な保護政策はなく、保存は民間の愛好家に依存しているそうです。「近年、高齢化や飼育環境の変化などから、飼育を放棄する人が増え、日本鶏の保存・保護が急務となっています。日本鶏の文化を守り、研究素材として未来へ残していくために、日本鶏保護増殖舎がつくられました」



ニワトリの健康状態をチェック

都築先生の専門は遺伝育種学。日本鶏を利用して国産の高性能ニワトリをつくる研究をしています。「現在市場で販売されている鶏卵、鶏肉の多くは国産ですが、その親となるニワトリはほとんど外国産です。この部分を自国でま

かなえるようになれば、真の意味で日本の食料自給率は上昇します。そのために、DNA情報を解析することで高性能の遺伝子を選別し、より高品質のニワトリを生み出そうとしています」



日本鶏保護増殖舎の外観

今回の取材では、実際に日本鶏を見せてもらいました。本来、観賞用だったという日本鶏は、さまざまな姿形でとても個性的でした。「子どもの頃からニワトリが好きで、私は「学問は、最高の遊びである。」を体現しています」という先生の笑顔が印象的でした。

取材・記事/経済学部2年 神岡 遼

Knock on the door

ヒトのココロを解剖する。

医歯薬学総合研究科 内匠研究室訪問

心の問題に分子生物学の観点から迫る

「心の病気は、どこまで遺伝的に規定されているのか?」。内匠先生の研究は、分子生物学の手法を用いて、心の問題をゲノムなどの分子レベルで解明することです。先生は、自閉症のヒトにみられる15番染色体の一部領域が重複する遺伝子異常に注目し、ヒトの染色体異常と同じ異常を持つモデルマウスを人工的に作ることに成功しました。通常のマウスとの行動の違いを調査し、自閉症タイプのマウスは、近くにいる別のマウスに対する反応が少し鈍いなど、新たな事実を発見しました。

染色体異常が心に影響をもたらすメカニズムをマウスによって解明し、最終的にはヒトに応用するのが先生の目標です。

他人のやってないことをやりたい

先生は少年の頃、野口英世の伝記を読んで、研究者になりたいと思ったそうです。大学は医学部に進学しますが、当時から医者になりたいというより、基礎研究がしたいと思っていたそうです。同級生のほとんどは、卒業して臨床へと進んでいきましたが、先生は研究室に残り、研究に専念します。

当時、まだ未開発の研究分野だった分子生物学の中でも、未知の部分が多い「脳の仕組み」を先生は研究テーマに選びました。「他人がやってない、未知の分野を研究する方が、やりがいがある面白。研究は、一生懸命すればするほど大変ですが、好きなことができるので楽しいですね。そう語る先生は、とても生き生きとしていました。」

研究にこだわり、世界一を目指す

「アートとサイエンスは表裏一体の関係にあって、科学者にも感性や想像力が必要です。欧米では、大学や研究所には必ずおしゃれな絵が飾られて、科学者の創造力を育む文化があります」。内匠先生の研究室は実におしゃれで、インテリアにもこだわっています。

内匠先生は、研究で世界一を目指したいと言います。「東広島キャンパスの学生でも、医学や生物学に興味があれば、大学院生として医歯薬学総合研究科に進学し研究することもできます。そのために、他の大学に負けない研究環境が用意されています」。研究分野を目指す若者をサポートしたいという先生の熱意が伝わってきました。

もっと、ひたむきに

内匠先生が広大生へ伝えたいことは、「後悔しない学生生活を送ってほしいということと、学生時代に、やりきったと言えるものを何か一つは見つけてほしい」ということだそうです。僕も、自分には、やりきったと言えるものがあるだろうかと、思わず自問自答してしまいました。

取材・記事/教育学部3年 山本 大貴



たくみ 内匠 透

医歯薬学総合研究科 教授

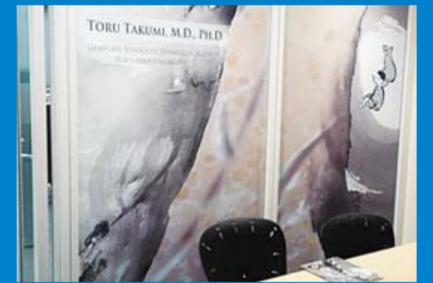
京都大学大学院医学研究科博士課程修了。米国マサチューセッツ工科大学、大阪大学医学部、神戸大学医学部、大阪バイオサイエンス研究所などを経て、2008年本学医歯薬学総合研究科教授に就任。専門は分子生物学。これまで、さまざまな遺伝子の同定に成功し、2009年には世界初となる、ヒト型自閉症マウスモデル開発に成功、同年ヘルツ賞受賞。分子生物学的アプローチで心の病気に迫る研究を柱にしている。博士(医学)。



実験時使用するマウス。



賞状や写真立てがたくさんありました。



研究室の仕切り壁は、船田奇峯絵師の作品をデザインしています。



佐々木 晶子 Akiko Sasaki
 広島大学 生物圏科学研究科 助教
 (2005年3月 生物圏科学研究科修了)

仕事はポジティブシンキングで。

—現在の仕事を選んだきっかけは？

小さい頃から、近所の川が遊び場で、生き物と触れ合うことがとても好きでした。小学生の時、いつも遊んでいた川の生き物が急になくなったことがきっかけとなり、小学校の自由研究で川の生き物を調べました。その中で、周囲の環境や水質の違いによって川にすめる生き物も変化することを知り、生き物と関わる野外調査や研究の面白さの一端に触れ、研究者への道を意識していきました。



—どんな仕事ですか？

主な仕事は、学生の教育と河川環境の研究です。研究では、フィールドで河川環境における生き物の役割について、継続して調査しています。生き物が持つ未知の仕組みや役割を発見すると、やりがいを感じます。大学教員は、研究者としてその成果を論文にまとめ発表していくことも重要です。論文の執筆や発表には、第三者から与えられる締め切りやノルマがないので、主体的に時間管理をして仕事を進める力が必要不可欠だと実感しています。

教育では、実習や教養科目の講義を担当し、学生が生き物に興味を持つきっかけになるよう心掛けています。今年の夏、地域の小学生を対象にした、川の生き物の研究教室に、講師として参加しました。自分が研究者を目指すきっかけとなった、川の生き物と親しむ活動に、講師として参加できたことはとても印象深い出来事でした。若い世代に、もっと生き物好きが増えてほしいと思います。

—大切にしていることは？

仕事で大切にしていることは、ポジティブシンキングです。捉え方で自分の気持ちや行動パターンは変わります。同じ仕事でも、大変でつらいと思うか、がんばってみようと思うか。なるべく良い面を見つけるようにして、大変なことも自分が成長するきっかけと考えるようにしています。

学生時代は自分が中心で、目の前のことだけを考えがちでしたが、就職して、俯瞰的に物事を見るようになりました。社会人としていろんな方と接することで、相手のニーズを意識するようになり、「自分がどう行動したら、周りの人に貢献できるか、喜ばれるか」を考えるようになりました。

夫は関東で、生物学の研究に携わる仕事をしています。二人とも生き物全般に興味があるので、まとまった連休などには、夫婦でのんびり自然散策に出掛けて気分転換しています。



—広大生へメッセージを

学生時代は、社会人になるための準備期間だと思いません。学生の皆さんには、やりたいことにチャレンジできる、たくさん時間があります。時間を有効に活用し、さまざまな分野へのアンテナを伸ばし、たくさんのことを学んでください。そこから自分が好きなこと、一生懸命になれることを見つけて、与えられた課題をこなすだけでなく、積極的にさまざまな活動に参加するなどして、有意義な学生生活を送ってほしいと思います。

社会の第線で活躍している先輩たちの職場を訪ねて、突撃インタビュー。
 仕事のことから学生時代に身につけておくべきスキル、はたまたインターンシップの重要性、
 私たち学生の素朴な疑問・質問にお答えいただきました。

羅針盤 compass
 OB&OG 紹介



—留学のきっかけは？

私はインドネシア出身で、学部時代は台湾の大学で商学を学びました。そのころ興味があったIT(情報工学)について、もっと学びたいと思い、進学を決めました。ITといえばアジアでは日本が一番強いので、広島大学大学院を選びました。情報工学は学部で専攻していなかったので、大学院入試直前の1カ月半は、試験対策で猛勉強の日々でした。

大学院に入塾してから、昼は研究、夜はアルバイトで忙しく過ごしました。1日に16時間も、研究室にいたことがあります。あの勉強漬けの日々は、今でも強烈に印象に残っています。



—どんな仕事をしていますか？

富士通の仕事は、ITを使ってお客様のビジネスをサポートすることがメインです。私はパームセキュアという、手のひら静脈を使った生体認証装置のソリューション販売を担当しています。インドネシア語や日本語、英語、中国語の語学力を武器に、海外でプレゼンなどを行っています。

海外の相手との取引では、時差の問題で、夜中にメールのやりとりをすることもあります。大変なこともありますが、やりがいがあり、最新技術に触れることができるので、この

仕事は本当に楽しいです。

—仕事で苦労したことは？

一番大変だったのはコミュニケーションです。職場は日本人ばかりなので、日本語での会話にとても苦労しました。学生時代は情報工学の勉強が忙しくて、語学の勉強まで手が回らなかったのが、会社の研修で日本語を覚えました。それと富士通は組織が大きいので、初めのうちはやりたい仕事ばかりできるわけではありませんでした。しかし、思い返してみると、それも今の仕事を楽しめるようになるためのステップだったと思います。

—今後のビジョンは？

今は、母国に帰ることは考えていません。入社3年目で、いろんな仕事を覚えていく段階です。5年後には、自分が商談を任せられるようになりたい。そのためにも、目標となる先輩から知識を吸収して、自分で判断し、多くの仕事を進められるようになりたいです。

—広大生へメッセージを

どんどんコミュニケーションを取って、友達をつくってください。学生の頃、もっと他の学部の人と関わりたかったなと思います。入社直後は社内に知り合いがいなかったので、東京で就職した大学の同期たちとのつながりに助けられました。ぜひ大学や学年、学部の枠を超えて、つながりをつくってください。一度きりの人生、いろんなことをやってみて楽しまなきゃ損です。



ハリマント ジミー Hermanto Jimmy

富士通株式会社 金融ソリューション開発本部 パームセキュアビジネス推進室
 (2009年3月 工学研究科修了)

一度きりの人生、いろんなことを経験しよう。

取材を終えて



自分の好きなことに向かってがんばる佐々木さん。何事にもポジティブに挑んでいく姿が印象的でした。今回の取材を通して、もっと主体的に時間を利用し、自分にとって一生懸命になれることに会いたいと思いました。

取材・記事/経済学部1年 宮地 由宇人



初めての取材で、とても緊張している私に、ジミーさんはすてきな笑顔で応えてくださいました。お話を聞いて、仕事を心から楽しんでいることが伝わりました。自分の仕事に誇りを持つと、人はこんなにもキラキラできるのかと感動しました。私は今から就職活動を始めますが、ジミーさんのように自分の仕事を熱く語れるような人になりたいです。

取材・記事/教育学部3年 木村 友美



日本とロシアの友好を深めたい

—出会いを大切に—

アナスタシア プストフスキーフ Anastasia Pustovskikh
教育学研究科修士2年(ロシア出身)



プロフィール
ロシアのハバロフスク出身。極東国立人文大学で日本語を学び、2009年4月に来日。広島大学教育学研究科では、平和教育について学んでいる。日本とロシアの友好関係を深める仕事に就きたいと思っている。

ロシア極東の街、ハバロフスク市

ロシアは日本の隣国です。多くの日本人にとって、ロシアは遠い国というイメージがありますが、ロシアは広いので、日本から遠い所もあれば近い所もあります。私の出身地はロシアの極東、ハバロフスク市です。東京から飛行機でわずか2時間。びっくりするほど近いです。ハバロフスク市を流れるアムール川は、ロシアと中国の国境になっています。ハバロフスク市街から対岸の中国の街が見え、川を渡るとすぐ中国に入境できます。ですから、ハバロフスク市はロシアにあって、アジアの町とよく言われます。



ハバロフスクの眺め



アムール川

日本語教育を学ぶために広島大学へ

私の母語はロシア語ですが、大学で「日本語と英語の教授法」を専門に学びました。大学卒業後は、日本語学と教育学の勉強を続けたいと思い、留学を決めました。広島大学を選んだのは、日本語の勉強に最適な環境があることと、教育学といえは広島大学というイメージがあるほど、広島大学が教育学研究で有名だったからです。広島大学の学生になれたことを光栄に思います。

広島大学の印象

今でも広島大学に来た日のことをよく覚えています。大学会館前のバス停に着いて、教育学部まで歩いて行きました。あちこちにある地図を見ながら、「この大学は広くてすてきな」と思いました。歩きながら、多くの広大生に会い、道を聞きました。日本

人の学生にも留学生にも聞きましたが、みんな優しく、笑顔で教えてくれました。来たばかりで、不安な気持ちでしたが、広島大学に通う学生たちと話したことで、「楽しく勉強できて、日常生活も問題なさそうだ」と安心しました。



留学して再発見したロシア文化

留学する前は、日本人の考え方や生活スタイルは、ロシア人とは全く違うと思っていました。日本は別世界というイメージでした。でも日本での生活が長くなるにつれ、さまざまな世代の人やさまざまな分野の先生に会えば会うほど、みんな、同じ人間であり、違いはそんなにないのだ、と考えるようになりました。

日本人もロシア人もおいしい食事をしたり、友達と楽しく時間を過ごしたり、困ったら助け合ったりすることが好きだということが分かりました。この思いをできるだけたくさんの人々とシェアしていきたいと思っています。

広島大学で、いろいろな国から来た留学生に会って、自分のロシア



2009年に広島で開催された相撲。

人としてのアイデンティティーに初めて気付きました。それぞれ違う国から来た留学生同士は、お互いの国や文化について、あまり深くは知りません。自分にとっては当たり前の事実も、他の国の人にはびっくりする意外な事実ということもよくあります。外国の言語や文化を勉強することで、自分の国の文化や事情を再発見できるのだと思います。帰国後も、この意識を大事にしていきたいと思っています。

広大生の皆さん。広島大学で勉強できてラッキーと思ってください。いろんな機会があり、いろんな人に出会えることを大事にしながら、勉強や学生生活を楽しんでください！ (原文/日本語)

印象的なエピソード

日本に来た日は、特に印象深かったです。広大に留学するはずなのに、なぜかロシアから大阪まで切符をもらっていませんでした。大阪に着いて、広島大学までどうやって行けばいいのか全く分からなくて、パニックになりました。でも知らない日本人の女性に教えてもらって、バスで広大まで行くことができました。このエピソードは、今でも心に残っています。自分の時間を割いて見ず知らずの外国人を助けるこの行為は、日本人の心の広さを感じるきっかけとなりました。



体感地球

わたしの世界見聞録

“海外から広大へ”来て学んでいる外国人留学生&“広大から海外へ”行って学んでいる日本人留学生。「外国人から見た日本は?」「日本人が見た外国とは?」...留学生ならではの視点で、見たこと、聞いたこと、感じたことをレポートします。



踏み出して触れ合おう

—思想や文化の違いも理解する—

福永 彩花 Ayaka Fukunaga
文学部4年

アメリカ文学を研究したい

英語の勉強を始めた時から、英語でアメリカ文学を勉強したいと思っていました。HUSAで留学しようと思いついた理由は、語学留学とは異なり、現地の大学生と同じ講義を受け、単位を取得できるからです。専攻するアメリカ文学について現地の大学生たちと意見を交わし、文学作品をより深く理解したいと思いました。また、日本語が通じず、知り合いもないアメリカで、人間関係を一から築いて生活できれば、これからの人生でさまざまな困難に直面した際、それを乗り越える大きな自信につながると考えました。



State Fair (各州の良さをアピールする年に一度の祭典)。特産品を食べて、知らない者同士でも大いに盛り上がります。人々の様子から、ミネソタ州への誇りが感じられました。

一人でアメリカ横断に挑戦

特に印象深かったのは、約1カ月かけてアメリカを横断した一人旅です。ガイドブックもインターネットも使わず、人々との触れ合いを楽しみながら旅行しました。自ら積極的にコミュニケーションを取ることを心掛け、ホステルで声を掛けた友人たちと旅を共にしたり、道を尋ねた家



秋にはキャンパスの木々も紅葉し、すごくきれいでした。ただ、ミネソタはすぐに極寒の冬がやって来たので、この景色を楽しめたのはわずかな期間です。



キャンパスから少し離れた橋からのミネアポリス。キャンパス周辺にはシンシッピ川や湖など豊かな自然がありますが、少し離れると都市が広がっています。

プロフィール
2010年8月から約10カ月、HUSAの短期交換留学プログラムで、アメリカ合衆国のミネソタ大学に留学。大学の学生寮に滞在し、英語やアメリカ文学を学ぶ。将来の夢は、翻訳者になり、日本と海外の懸け橋として活躍すること。
【使用言語】英語
【費用】渡航費約20万円、1カ月の生活費12万円
※HUSA…広島大学の短期交換留学プログラム
URL: http://www.hiroshima-u.ac.jp/husa_program/



フィラデルフィアを旅行中に出会った韓国人の友人と、「Love Statue」の前で。ホステルで偶然同じ部屋になり意気投合し、一緒に旅をしたのは3日ほどですが、今でも連絡を取り合っています。

族に日本文化を紹介したりもしました。

アメリカ人は褒め上手

アメリカ人がとにかく相手を褒めるのには、とても驚きました。私も、「アヤカは英語がとても上手!」「笑顔で本当に元気が出る!」などと大いに褒められ、最初は照れくさく戸惑いました。しかし日本人特有の謙遜は、ここでは必要でないと感じ素直に喜び、自信につなげるようにしました。その代わりに、私も相手の魅力を見つけて伝えるようにしました。おかげで、他人の良い所を探すのが得意になりました。

文化の違いを超えて

留学をしたことで、相手をより深く理解できるようになったと感じます。アメリカには、アジア系・ヒスパニック系などの人々に加え、世界各国からの留学生も多く、多様な人種・文化が共存しています。そのため、文化の小さな違いが大きな誤解を招き、意見が衝突することもありました。単に意見を言い合うのではなく、背景にある思想や文化の

違いも理解できるよう心掛けたら、心から信頼できる友人が世界中にたくさんできました。今後も、この経験を生かし、考えや文化の異なる人とも歩み寄り、信頼関係を確実に築いていきたいと思っています。

広大生の皆さんへ

留学が不安で、踏みとどまる気持ちはよく分かります。それでも勇気を出して、全く違う文化や価値観の人々と共に生活してみることをお勧めします。日本ではできない出会いや、困難を乗り越えた後の自信など、その後の人生においてパワーとなる体験を得られます!

印象的なエピソード

東日本大震災では、海外の人々の温かさを感じました。震災が起きた3月、私はアメリカにいました。アメリカからも支援を届けたいと考え、私は日本人学生



初めてのNBA(北米プロバスケットボールリーグ)を観戦。タイ人(左)と台湾人(右)の友人たちと。ミネソタはカナダに接し、雪の量、最低気温共に常識の範囲を超えていました。ちなみに、昨冬の最低気温はマイナス30度近くでした。

学生取材班が行く **特別編**

ニュースを見よう!

ニュースはネットやケータイでも見られますが、テレビにはテレビの良さがあるはず。取材班がNHK 広島放送局に行って、ニュース番組ができるまで取材しました。



現場の方にインタビュー! お答えいただいたのは高山哲也アナウンサーと黒崎瞳キャスター、そして小高デスク。出演時間外に、アナウンサー・キャスターが何をしているのか? ニュースで大切にしていることは何か?

高山アナウンサー
黒崎キャスターに
聞く!

NEWS ニュースはこだわりでできている

「膨大な作業を積み重ねる」

テレビのニュースができるまでのプロセスを伺いました。「まず記者が情報を集め、デスクが取材する項目を決めます。記者は取材して原稿を書き、カメラマンが映像を撮ります。次に編集スタッフが映像と原稿を組み合わせて、分かりやすく編集します。アナウンサーやデスクは原稿をチェックし、放送の順番を決めて、放送前には、スタジオでリハーサルを行います」。お茶の間に届くまでに、いろんな専門家の共同作業があるんですね。

「放送直前までこだわり続ける」

「取材した記者が出演して解説するのか、キャスターが小道具を使って伝えるのかなど、演出も工夫しています。アナウンサーは、記者と打ち合わせをして、原稿をぎりぎりまでチェック、細かい表現を確認します。テレビ放送は時間との勝負です。どうすればより分かりやすく伝えるのかにこだわって、多くのスタッフが、放送直前まで奔走しています」



現場を見学。生放送中に編集している姿も、1分1秒前まで突き詰める姿勢が見えます。

実際に、お好みワイドの生放送のスタジオを見学しましたが、放送中は記者やデスクが集まって、放送モニターを食い入るように見ていました。放送の1分前まで映像編集を続けている方もいて、まさに真剣そのもの。



リハーサル現場。本番と変わらない雰囲気、生放送中かと勘違いしそうになるくらい!

「ニュースは社会を映す」

テレビのニュースは、世の中で関心が高いニュース、重要性が高い情報を選択して伝えています。インターネットでは、自分の興味のある記事しか読まないのが、テレビを見て、広く社会の関心を捉えたいと思いました。



広島空港など各所を映すライブカメラのモニターもあり、「作業中に見て、何かおかしなもの映ったらすぐ飛んでいきます」とのこと。情報のアンテナは、こんなところにも張られています。



放送中はスタッフが集まり、食い入るように画面を見ています。他局の放送から、スタジオのカメラの全映像まで映っています。

Schedule 1日のタイムスケジュール

- 午前10:20 打ち合わせ
今日の昼から夜、明日にかけてのニューストピックスを確認し共有します。県内に限らず、全国のニュースにも目を通します。
- 午前中 一同ミーティング
全国や地方のニュースをみんな共有して、そのニュースが果たす役割や影響をスタッフみんな検討します。
- 12:00 昼のニュース放送
- 午後 打ち合わせ
午後にかけて新たに入手したニュースを含めて、ニュースを整理し、共有します。「お好みワイド」に向けて、「このネタは放送に間に合うか」「紹介の切り口を変えないか、時間はあるか」といったことも議論します。
- 夕方16:00～18:00 各部門で準備!
映像編集や原稿チェック、演出の確認など、スタッフはそれぞれの専門で一番忙しい時間帯。
- いよいよ本番! 18:10～19:00
「お好みワイド」生放送!

視聴者に近い感覚を 高山アナウンサー

言葉を中心に表現するという仕事をする上で、普段の過ごし方を大切にしています。情報を吸収することや、人とのコミュニケーションの取り方が、放送にはとても生きてきます。私たちは発信する側ですが、視聴者に近い感覚を研ぎ澄ませることが大事ですね。やりがいのある仕事なので、就職活動されている方は、ぜひ本気で目指してもらえたらと思います。

考え、工夫し、伝える 黒崎キャスター

人前で話すことが大好きで、高校生の時にアナウンサーになれたらいいなと思いました。アナウンサーも、自分でニュースを取材したり、自分でどういう放送をするか演出を考えたりすることは驚きました。すごく大変ですが、放送本番まで自分で工夫していく中で、「伝えたい」という気持ちが高まっていくことを実感します。

取材を終えて

ふとしたときに見るニュースは、「なんだろう?」と自ら調べるきっかけを与えてくれる大事な情報源です。そんないつも発見のあるニュース制作の裏側は、世に飛び交う情報の最先端に触れる興味深い場所であり、また膨大な作業の積み重ねの場所でした。テレビをもっと見たい、すてきな取材になりました。

法学部3年 武林 賢朋

つながる。うごく。ひろめる。

OPERATION つながり

こんにちは! 広島大学震災復興支援ボランティア「OPERATION つながり」です。東日本大震災直後に、「被災地のために何かしたい」という、たくさんの広大生の思いが集まって生まれたボランティア団体です。現在、学部生と院生、合わせて30人で活動していて、留学生もいます。

被災地から遠く離れた広島では、何かしたいと思っても、行動に移すことは容易ではありません。私たちは、小さくても継続できる支援は何かを考え「つながる」「うごく」「ひろめる」の3つのキーワード

を柱に、活動を展開してきました。「つながる」はチャリティーイベントを通して支援したい者同士が支援への熱い思いを共有し、その思いを被災地の人々に伝えることです。「うごく」は中国地方に来られた被災者への支援や被災地でボランティア活動を行うこと、そして「ひろめる」はワークショップや展示会を企画し、被災地の現状や被災した人々の思いを一人でも多くの人に知ってもらうことです。



5月のチャリティーイベントでは、たくさんの留学生が、日本のためにダンスや料理をふるまってくれました。

これまでに、現地視察や留学生を巻き込んだ東北支援チャリティーイベント、ワークショップ、震災展示会を開催しました。そして9月には、現地に「つながり隊」を派遣しボランティア活動や交流会を行い、10月に報告会を開きました。12月には第2次隊を現地に派遣するなど、幅広く活動しています。



宮城県にてボランティア(がれき撤去作業)



精神面のケアを目的に宮城県にて交流会を開催

私たちは、災害の復興に長いスパンで向き合わなければいけません。広島で育まれた若い人材が原動力となり、少しでも早い復興が実現するよう、地道な活動を続けていきたいです。そして活動を通じて、「誰かのために、自分で考えて動く人」になることを目指しています。私たちは、これからも活動を続けて、東北と日本、世界をつなげます。興味のある方、気軽にご連絡ください!

(記事/OPERATION つながり・総合科学部3年 蛸原 由貴)

連絡先 operation.tsunagari2011@gmail.com

HP http://t-trip.6.ql.bz/~t-trip/tsunagari/

発見! 元気人

ガンバル広大生のPRページ。みんなで応援しよう!

広島農業を知ろう

農業理解推進団体 じゃけん!農(know)

皆さんこんにちは! 「じゃけん!農(know)」です。私たちは、2010年の4月から本格的に活動を始めた、新しい団体です。「じゃけん!農(know)」という団体名は、「～じゃけんのう(～だからね)」という広島の方言と、「農=(know) 知る」という意味を掛けた造語で、一緒に活動している農家さん、そして私たちメンバーの「広島農業を知ってほしい!」という思いを込めて付けました。

私たちの主な活動は、月に1・2回行っている広大生を対象とした農作業体験会の運営です。

農業への理解を深めるために、東広島市や三原市の農場に出掛けて、農家さんと一緒に農作業をし、対話する機会をつくっています。農作業は農家さんにとってはいつもの作業ですが、私たちにとっては非日常の体験です。農業を理解するには、体験が一番です。



4月下旬には花の苗の植え付けを行いました。10月にはコンバインに乗って稲刈り体験会をしました。

農作業体験会では、農家さんが普段行っているのと同じ農作業を行います。田植えや稲刈り、野菜の収穫などの代表的な作業から、草刈りなど農業には欠かせない地味な作業まで、さまざまな作業を行います。活動を通じて、農業の大変さや楽しさを感じることができます。



農家さん自慢の野菜をてんぷらにして食べました。とてもおいしかったです!

皆さんは、普段何気なくスーパーで購入し食べている野菜が、どうやって作られているのか考えたことがありますか? 農作業体験会はその問いに答える良い機会です。大学の講義や本を読むだけでは分からない、食料や農業を取り巻くリアルな問題や、農家の実態の一端も感じることができます。ぜひ私たちの農作業体験会に参加して、農業を知って、感じてください。農業の見方、食べ物の見方が変わるはず!一緒に農家さんと明るく、楽しく、元気よく活動してみませんか?興味のある方はまずブログを見てください。皆さんのご参加を心よりお待ちしております!

(記事/じゃけん!農(know)・法学部2年 矢口 恭平)

連絡先 jaken.yasai@gmail.com

ブログ http://blog.livedoor.jp/jaken_know/

Hi! Hirodai Information

学内の重要なお知らせから、耳寄りなニュースまで。広大生必読のインフォメーションです。

第5回広島大学ホームカミングデーを開催

11月5日(土)、第5回広島大学ホームカミングデーを開催しました。サタケメモリアルホールでは三浦雄一郎氏や北川正恭氏の講演会を行い、ホール周辺では連携市町の物産展や学生チームによる趣向を凝らしたステージなどを開催し、約3500人が来場しました。



広島大学大学祭が盛況のうちに終了

11月5日(土)・6日(日)の2日間、東広島キャンパスで第60回広島大学大学祭・第12回広島大学教育学部祭を開催しました。また、11月12日(土)・13日(日)の2日間、霞キャンパスで第44回霞祭を開催しました。



大学祭 教育学部祭 霞祭

卓球部の荒木基亮・亮祐ペアが中国大会で優勝

8月22日(月)から8月25日(木)にかけて、岡山県総合グラウンド桃太郎アリーナで行われた、第62回中国学生卓球選手権大会で、卓球部の荒木亮祐さん(薬学部4年)が男子シングルスで優勝しました。また男子ダブルスでは、荒木亮祐さんと荒木基亮さん(医学部6年)のペアが優勝しました。

アーチェリー部が中国四国大会で優勝

8月27日(土)から8月29日(月)にかけて、広島国際学院大学一貫田グラウンドで行われた、第41回中国四国学生アーチェリー個人選手権大会で、アーチェリー部の後藤悠太さん(法学部3年)がRC男子で優勝しました。また9月7日(水)に、佐伯国際アーチェリーランドで行われた、第31回中国四国学生フィールド選手権大会で、藤原康司さん(理学部2年)がRC男子1位に、10月29日(土)から10月30日(日)にかけて、広島大学アーチェリー場で行われた、第41回中国四国学生アーチェリー新人選手権大会で、柿田貴臣さん(理学部1年)が初心者部1位に入賞しました。

陸上競技部が中国四国大会で優勝

9月23日(祝)に、庄原市西城町陸上トレーニングセンター(クロカンパーク)で行われた、第43回全日本大学駅伝対校選手権大会中国四国地区最終選考会で、陸上競技部が団体第1位に入賞しました。また、10月14日(金)から10月16日(日)にかけて、広島総合運動公園陸上競技場(コカ・コーラウエスト広島スタジアム)で行われた、第34回中国四国学生陸上競技選手権大会で、陸上競技部の金崎葵さん(教育学部1年)が女子10000mWで第1位に入賞しました。

ソフトテニス部が好成績

10月13日(木)から10月16日(日)にかけて、岡山県備前市総合運動公園テニスコートで行われた、第57回中国・四国学生ソフトテニス選手権大会で、ソフトテニス部が優秀な成績を収めました。

団体戦 優勝 女子Aチーム

個人戦(ダブルス) 優勝

男子:村上 賢一(教育学部2年)・山口 慶護(教育学部4年)組
女子:中村 友里(教育学部2年)・工藤香那子(教育学部4年)組

アメリカンフットボール部が中四国リーグ優勝

10月23日(日)に、広島広域公園第二球場で行われた、中四国学生アメリカンフットボールリーグセカンドステージトーナメント第2試合で、アメリカンフットボール部が勝利し、中四国リーグ優勝を果たしました。

水中ホッケー高阪さんアジア大会に出場

12月2日(金)から4日(日)にかけて、シンガポールで行われた第4回水中ホッケーアジア国際親善試合で、高阪将人さん(国際協力研究科博士課程前期2年)が日本代表チームで出場し、3位入賞を果たしました。水中ホッケーとは、2チームがプールの底でバックを奪い合いながら、相手ゴールにバックを入れ合うスポーツで、欧米を中心に世界的に盛んな競技です。高阪さんは、2013年に南アフリカ共和国で開催される世界選手権に向けて練習中です。



第57回中・四国国立大学連合演奏会・美術展覧会を開催

11月25日(金)から11月27日(日)にかけて、高知市文化プラザかるぽーとで、高知大学の主管による、第57回中・四国国立大学連合演奏会・美術展覧会が開催されました。広島大学からも音楽系・美術系の6団体が参加し、日頃の活動の成果を披露しました。

中国五大学学生競技大会で総合優勝

10月29日(土)から11月13日(日)にかけて開催された、第62回中国五大学学生競技大会(冬季大会)で、本学が1位となり、夏季大会と合わせた総合成績でも見事優勝。14連覇を達成しました。

○広島大学の成績(冬季大会)

競技種目	順位			
	男子	2位	女子	2位
庭球				
サッカー	5位			
ラグビー	2位			
バスケットボール	男子	1位	女子	1位
柔道	男子	4位	女子	1位
剣道	男子	1位	女子	1位
アーチェリー	男子	1位	女子	1位
ハンドボール	1位			

第5回ドリームチャレンジ賞が決定

広島大学同窓会と広島大学校友会が、第5回ドリームチャレンジ賞を決定し、17件(助成総額300万円)を採択しました。この賞は、広島大学の学生の自主的かつ創意工夫に富んだ提案に対して、活動資金を助成するものです。



- 陣内満喜子(教育学部4年) 広島県に住む外国人に日本語を学ぶ機会を提供する
- 奥田 晃生(工学部2年) モンゴルで行うけん玉を通じて国際交流
- 西尾夏央里(生物生産学部3年) 全日本学生大会への出場権を継続的に得るとともに、入賞可能な人馬を育成する。
- 谷村聡一郎(医学部3年) オーケストラから学ぶ医療学
- 竹下 八重(保健学研究科M2年) 地域での包括的な健康管理システムの構築
- 中藤 大輝(総合科学部3年) 西条から広げよう、「でんきを消して、スローな夜を。」～キャンドルナイトの開催～
- 蛸原 由貴(総合科学部3年) 震災復興支援ボランティア東北派遣「つながり隊」
- 河野 詠二(教育学部1年) 第6回東広島映画祭
- 高橋 大海(国際協力研究科M2年) インドの子どもの貧困と教育を考えるワークキャンプ「Tea Smiles Project」
- 佐藤 裕樹(教育学研究科M2年) 認知行動療法(CBT)を理論的・実践的に学ぶ場を作る
- 隈部 悟(教育学研究科M1年) 「科学の楽しさを伝える」きず☆サイエンスクラブ広島
- 玉山 瑞衣(教育学研究科M1年) 中学生の時間的展望と時間的志向性
- 野中陽一郎(教育学研究科D3年) 世界へ羽ばたくナンバーワン・オンリーワン教育への施策—若手教育者の挑戦—
- 高橋 涼(文学部2年) 複数言語を用いたバスの利用案内ポスターをとらえて広島大学の国際化を考える
- 脇山 佳奈(文学研究科D3年) 広島大学考古学研究室所蔵の仿製鏡を再検討する
- 古田 公保(工学部3年) 全日本学生大会優勝に向けての挑戦
- 藤原 和紀(工学部2年) 全日本学生フォーミュラ大会への挑戦

第1回 My Best 授業紹介コンテスト優秀賞を表彰

第1回 My Best 授業紹介コンテスト優秀賞に、4作品が選ばれました。My Best 授業紹介コンテストは、学生の基礎的・汎用的能力向上への意識を高めるとともに、本学の授業で周囲の学生に受講を勧めたいと思っている授業を教職員および学生に知ってもらうことが目的。



●優秀作品

- 「講義で学ぶこと」政成 美沙(生物圏科学研究科)
題材とした授業…「微生物機能学」三本木至宏教授(生物圏科学研究科)
- 「Nice Learning Experience」
P.D. Iroshini Kumari Paranagama(国際協力研究科)
題材とした授業…「Corporate Social Responsibility」高橋与志准教授(国際協力研究科)
- 「[地域の歴史と環境]から考える」釜野 靖子(教育学部)
題材とした授業…「地域の歴史と環境」佐竹昭教授(総合科学研究科)
- 「Close your eyes and keep your mind wide open」
姜テイ(社会科学部)
題材とした授業…「日本の教育と文化A」中矢礼美准教授(国際センター)

広島大学 冬の節電の取り組み

東日本震災の影響により、夏に続いて冬の電力不足が懸念されています。広島大学では、全構成員(約2万人)一丸となって、省エネ対策に取り組んでいます。

ウェブサイト「冬の節電チャレンジ」を公開

広島大学の節電への取り組みをウェブサイトで公開しています。部局別の電力使用量も公開。身近な節電の工夫や大学からのお願いを節電チャレンジのサイトで紹介します。

節電チャレンジ

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/intro/setsuden/winter2011-2012/>

すぐできる、冬の節電チャレンジ

- エアコンの効率活用
エアコンの設定温度の目安は20℃です。ブラインドを閉め、出入り口付近についたて等を設置すると効率的です。
- ウォームビズの励行
寒い時は1枚羽織る。ウォームビズとは、室温設定20℃でも対応できる服装が基本です。マフラーやひざ掛けを活用しましょう。
- 暖房便座のふたを閉める
温座・温水の設定を最低設定にしています。使用時以外はふたを閉め、省エネに。
など 詳しくは節電チャレンジのウェブサイト。

パソコンの省エネ設定にご協力ください

省電力の一環として、パソコンの省エネ設定を推進しています。可能な範囲で省エネ設定にご協力ください。

省エネ 設定方法変更

http://home.hiroshima-u.ac.jp/jyoho/Energy_saving/PC.html

第49回フェニックス駅伝開催!

12月11日(日)、第49回フェニックス駅伝が東広島キャンパス周辺で開催されました。一般の部82チーム、女子の部18チームの計100チーム、約800人が成績を競いました。上位チームは以下のとおり。



一般の部 (30.7km)

- 1位 モバゲーズ
2位 広大ランナーズA
3位 トライアスロンGulls A

女子の部 (10.7km)

- 1位 広島市スーパースターズ
2位 水泳部女子A
3位 トライアスロンGalls

PRコーナー

ランチタイムチャット「寄りんsci屋」～井戸端会議は宝の山!～

理学融合教育研究センターは、毎週火曜日に理学研究科の教職員・学生・留学生の交流の場として、ランチタイムチャット「寄りんsci屋(よりんさいや)」を開催しています。週に一度、理学研究科の教職員が仕事や研究の手を休め、一緒に昼食を取りながら、「おしゃべり(チャット)」をしています。有益なアイデア交換はもちろんのこと、異なる研究分野間の雑談から学際的な融合研究も芽生えています。興味のある方は誰でも参加できます。



日時: 毎週火曜日 12:00～13:30
場所: 理学部B棟107室
問い合わせ先: 附属理学融合教育研究センター TEL 082-424-4384

第50回大学院教育学研究科造形芸術教育学専修・教育学部造形芸術系コース 修了・卒業制作展/論文発表会

- 学内展
日時: 2月20日(月)～24日(金) 10:00～20:00
※24日のみ16:00まで
場所: 広島大学 大会館1階大集会室
●学外展
日時: 2月28日(火)～3月4日(日) 9:00～17:00
※2日のみ19:00まで
場所: 広島県立美術館 地下1階県民ギャラリー
●論文発表会
日時: 3月3日(土) 13:00～15:10
場所: 広島県立美術館 地下1階講堂
連絡先: 教育学研究科 造形芸術学講座事務室 TEL 082-424-7140

校内でも国際交流を楽しめます

広島大学国際センターは、さまざまなテーマで、文化・自然体験を通じ日本人学生と留学生が交流できるイベントを開催しています。詳しくはもみじに掲載予定。

今後の予定

- Regional World Cooking
日時: 1月21日(土) 10:30～13:30 (学生プラザ1F)
●留学体験報告会...4月中旬
●International Luncheon
日時: 毎週木曜日 12:10～12:40 (学生プラザ4F多目的室)
●Face to Face
日時: 毎月1回 16:20～18:00 (日時はもみじ参照)

問い合わせ先: 国際交流グループ E-mail: elife@hiroshima-u.ac.jp

2012年1月～4月までの主なスケジュール

- 1月
1.10～ 授業開始
1.15・16 大学入試センター試験
1.17 学位記(博士)授与式
1.20～2.17 学生による授業評価アンケート 教育プログラム評価アンケート回答期間
1.21・22 指定下宿の幹旋会
1.30～2.10 学期末試験*
1月下旬 日本学生支援機構奨学金 適格認定奨学金継続願提出締め切り*
1月末 日本学生支援機構大学院第一種奨学金 返還免除候補者申請書類提出締め切り*
前期末「授業料免除申請のしおり」配布 教育室学生生活支援グループおよび各学部・研究科の学生支援グループで配布します。
2月
2.1 前期末授業料免除申請受付開始*
申請受付期間は、「授業料免除申請のしおり」等で確認してください。
2.1～3.23 卒業・修了予定者によるフィードバック調査 回答期間
2.6 副専攻プログラム、特定プログラム登録受付 締め切り
2月上旬～3月 G.ecbo(海外インターンシップ) 冬期派遣
2.11～4.8 学年末休業(～3.31)、春季休業(4.1～4.8)
2.18～3.4 第4回STARTプログラム・アメリカ派遣
2.25～26 一般入試(前期日程)
2.29～3.13 第5回STARTプログラム・ベトナム派遣
3月
3.12、13 一般入試(後期日程)
3月中旬 日本学生支援機構奨学金案内の配布 教育室学生生活支援グループおよび各学部・研究科の学生支援グループで配布します。
3.22・23 給付奨学金(地方育英会・財団等)の事前 申請受付
3.23 学位記授与式
3.29 学生による授業評価アンケート 教育プログラム評価アンケート 結果公開
3月下旬 副専攻プログラム、 特定プログラム登録審査結果通知*
4月
4.1～ 健康診断*
4.3 入学式
4.4～4.20 履修手続期間*
4.6～7 交通安全講習会
4.6～4.12 日本学生支援機構奨学金出願受付* (学部2年生以上)
4.9 前期授業開始
4月上旬～下旬 G.ecbo(海外インターンシップ) 派遣学生募集(大学院生)
4.13～4.20 日本学生支援機構奨学金出願受付* (大学院在学採用)
4月中旬～ オリエンテーションキャンプ*
4.30 前期授業料振り込み締め切り

注意 ※印のあるものは、学部・研究科などによって日程が異なります。必ず「もみじ」やHP、掲示板などで確認してください。



COVERな人 第28号

「イルミネーションを背景に、トワイライト撮影して面白そう!」という学生スタッフの一言で決まった今回の表紙企画。アナスタシアさんの白い衣装にロシアふうな帽子がパッチリ映えていて、冬を感じさせる1枚になりました。

アナスタシア・プストフスキーさん

- 教育学研究科M2
●ロシアのハバロフスク市出身。
●小学校でロシアを紹介する活動や、テレビのリポーターにも挑戦。

本人コメント

3年前に、初めて「HU-style」を見たときには、広島大学がすてきな広報誌を出していることに感動しました。その時、チューターに「いつかアナスタシアも表紙モデルになればいいね」と言われました。それ以来、ずっとこの夢を持っていましたが、その夢が3年越しにかなうとは、全然思っていませんでした。何かを一生懸命信じて、それは必ず実現するということが、よく分かりました。皆さんも、ぜひ夢を持ってください!

表紙モデル募集

表紙を飾ってくれる学生を募集します。ぜひ出てみたいという方、ちょっと興味があるんだけど...という方は、気軽に編集部までご連絡ください。自薦他薦は問いません。

CONTENTS

- 01 あの人に会いたい
...01 長崎 俊一
特集 03 広生 Fashion check 03...
07 学生取材班が行く
...07 恩賜賞・日本学士院賞を受賞 佐竹明名譽教授にインタビュー
...07 広島大学の 日本鶏研究がすごい!
09 羅針盤 OB&OG紹介
...09 佐々木 晶子
...10 ハルマント ジミー
08 Knock on the door
医歯薬学総合研究科 08... 内匠研究室訪問
11 体感地球 わたしの世界見聞録
アナスタシア 11... プストフスキー
福永 彩花 11...
13 学生取材班が行く「特別編」
...13 NHK 広島放送局を突撃取材! ニュースを見よう!
14 発見! 元気人 ガンバル広生のPRページ。 みんなで応援しよう!
OPERATION つながり 14...
農業理解推進団体 14... じゃけん!農(know)
15 Hi! Hirodai Information
...15 各種お知らせ
...16 COVERな人
...17 編集部からのお知らせ

編集部からのお知らせ

HU-style(エイチユースタイル) 編集基本方針

- 学生に「挑戦する、行動する」一つのきっかけにしてもらうべく、「人」に焦点をあて、学生、教職員、卒業生をはじめさまざまな人々が持つ多様な個性、価値観など(style)を紹介する。
○本学に関する情報の伝達と周知

投稿募集

- ①掲載記事について
1件につき、400字以内でお寄せください。氏名(ふりがな)、所属、学年、連絡先を明記。文章は編集部で手直しさせていただきます。紙上での匿名もOKです。
②情報の提供、『HU-style』への提言
取り上げてほしい人物・テーマなどの情報をお寄せください。氏名(ふりがな)、所属、学年、連絡先を明記。
※①②とも、原則としてEメールで投稿してください。

学生広報スタッフ募集!

本誌の企画・編集に参加していただける学生を募集しています。希望される方は、まずはEメールでご連絡ください。

定期購読のお申し込み

学外の方で、定期購読を希望される方は、住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業を明記し、Eメールまたはハガキでお申し込みください。

本誌の記事・写真等の無断転載を禁じます

個人情報保護について

投稿、応募、購読申し込みに記載の個人情報は、編集部からの連絡に利用します。投稿および応募結果は、本誌以外の各種媒体に掲載する可能性があり、掲載時には原則として、氏名、所属、学年を記載します。事前に承諾を得ない限り、個人情報をこれ以外の目的には利用しません。郵便物やEメールなどは適切に管理し、使用後は破棄します。

お問い合わせ・お申し込み

広島大学広報グループ 『HU-style』 編集担当
(連絡先は下記参照)

今回の特集は、久々のファッション特集でした。皆さんのおしゃれに関する「こだわり」が伝わってきましたね。どんなことでも「こだわり」を持っていいですね。おしゃれ以外にも、広大には学生さん、先生など「こだわり」を持って何かに取り組んでいる人たちがたくさんいます。これからも、そういう人たちを紹介していきます。私も「こだわり」を持って仕事したいなあ...あつ、その前に締め切りを守らないと。

(新米編集長O)

HU-style 2012年1月号 Vol.28 (季刊)

編集・発行 広島大学広報グループ
住所 〒739-8511 広島市鏡山一丁目3番2号
電話 082-424-6017
F a x 082-424-6040
E-mail koho@office.hiroshima-u.ac.jp
制作 有限会社トゥービー
印刷 中本総合印刷株式会社

※次号は4月上旬発行予定です。(4月、7月、10月、1月の年4回発行)